

ブロックだより

東北ブロック総会(岩手県支部主催)

本県で6年ぶりに開催された第36回東北ブロック総会は、盛岡市つなぎ温泉「愛真館」で26名が参加して、9月30日(日)午後2時30分から行われ



た。開会は、青森の奥野賢一東北ブロック長の挨拶に続き、山本良吉副会長の来賓の挨拶をした。本県の菅原忠文支部長は、台風にもかかわらず大勢の方々に参加していただいたことに感謝し、ゆつくりくつろいで欲しいと歓迎の挨拶を述べた。講演会は、予定していた京都大学名誉教授の池上惇先生が、台風で新幹線が不通となり出席できなかったため、急きょ講演要旨をメールで届けていただいた。その内容が30ページにも及んだため、ご紹介にとどめて後日各支部長あてにお届けすることとなった。

入浴後は、懇親会が飲み放題で開会され、本県の櫻庭豊太郎幹事の進行で次々に各県自慢の出し物で賑わった。引き続き二次会が設定され、時の経つのも忘れるほど賑わった。二次会の終了時には、参加者全員が円陣を組み「北国の春」を歌い、再会を誓ってお開きとなった。



河野島根県幹事の司会により開会。鎌子副会長が、埼玉県校友会の今日の活性化は情熱、地道の絆を結ぶ努力だと自らの実践を披露。審議は坂本が議長となる。年会費納入は郵便振替用紙が各県に定着している、広島、山口のオール日大との取り組み、11月に広島県と奈良県校友会の交流並びに正倉院展研修の予告、31年度総会山口県主催の決定、後継中国ブロック長選任は世代交代を考えたい、を提起して終了。

記念撮影終了後、記念講演「松江のお茶文化」中村茶舗社長中村寿男氏、そして懇親会。7月豪雨災害被災の岡山県校友安部通宏氏に個人的に募金を募った。26日は希望者だけで市内観光。

平成30年度九州ブロック総会は、鹿児島県支部が担当し、通信教育部事務局長西野光様・校友会長鈴木勝様外、九州各県から総勢19名の出席を得て、平成30年7月28日(土)鹿児島市の郷土料理さつま路で開催しました。



幹事長牧迫正晃の進行で、開催の挨拶に続いて、物故者へ黙祷、校歌斉唱九州ブロック長松尾志郎・鹿児島県支部長古市重喜が挨拶、鈴木勝会長から校友会の近況、西野光事務局長から学校の現状を含めて挨拶を頂きました。

各県支部の活動報告では、各支部とも高齢化と新入会員が皆無で役員の若返りができない。そんな中、オール日大との交流を実施している(佐賀、熊本、宮崎)と報告があり、鈴木会長からも、オール日大と交流して人間関係を広めていただくよう助言がありました。

また、鈴木会長から叙勲褒賞受章者の情報を写真付きで校友会会報に掲載するため、本人の了承を得て提供するという依頼がありました。

総会終了後、写真撮影・懇親会を行い、鹿児島県支部顧問北山正夫氏が挨拶と乾杯の発声をして親睦を深めた。懇親会の中で古市支部長から、来年度沖縄県を会場として開催できないか提案し、鈴木会長・松尾ブロック長・長浦長崎県支部会長の同意を得て、古市支部長が宮城沖縄県支部長に依頼の手紙を出すこととなった。

鹿児島県支部からは「小松帯刀」という銘柄の焼酎を県外からの参加者に贈った。

(文責 古市 重喜)

北信越ブロック総会(福井県支部主催)

平成30年度北信越ブロック総会は、福井県が担当して、平成30年10月27日(土)午後4時から福井県あわら市舟津の「あわら温泉 グランディア芳泉」にて開催しました。

出席者は、通信教育部校友会会長代理の田添正氏、長野県支部3名、新潟県支部4名、富山県支部2名、石川県支部3名、福井県支部1名が参加しました。

総会司会はブロック長館聖氏が務め、新潟県支部の和泉正二氏に対し、本部表彰状が授与された後、総会次第により進行

行った。高橋氏は、陶芸や彫刻等の多彩な趣味を生かした作品を持参して参加者に見ていただきながら話され、その卓越した腕前に称賛の拍手が沸いた。続いて参加者全員

の自己紹介が行われて、各県の活動状況や課題について話し合われた。司会進行をした奥野ブロック長は、台風の影響もありその日帰省しなければならず、その前に全員で記念写真に納まった。

入浴後は、懇親会が飲み放題で開会され、本県の櫻庭豊太郎幹事の進行で次々に各県自慢の出し物で賑わった。引き続き二次会が設定され、時の経つのも忘れるほど賑わった。二次会の終了時には、参加者全員が円陣を組み「北国の春」を歌い、再会を誓ってお開きとなった。

河野島根県幹事の司会により開会。鎌子副会長が、埼玉県校友会の今日の活性化は情熱、地道の絆を結ぶ努力だと自らの実践を披露。審議は坂本が議長となる。年会費納入は郵便振替用紙が各県に定着している、広島、山口のオール日大との取り組み、11月に広島県と奈良県校友会の交流並びに正倉院展研修の予告、31年度総会山口県主催の決定、後継中国ブロック長選任は世代交代を考えたい、を提起して終了。

記念撮影終了後、記念講演「松江のお茶文化」中村茶舗社長中村寿男氏、そして懇親会。7月豪雨災害被災の岡山県校友安部通宏氏に個人的に募金を募った。26日は希望者だけで市内観光。

平成30年度九州ブロック総会は、鹿児島県支部が担当し、通信教育部事務局長西野光様・校友会長鈴木勝様外、九州各県から総勢19名の出席を得て、平成30年7月28日(土)鹿児島市の郷土料理さつま路で開催しました。

幹事長牧迫正晃の進行で、開催の挨拶に続いて、物故者へ黙祷、校歌斉唱九州ブロック長松尾志郎・鹿児島県支部長古市重喜が挨拶、鈴木勝会長から校友会の近況、西野光事務局長から学校の現状を含めて挨拶を頂きました。

各県支部の活動報告では、各支部とも高齢化と新入会員が皆無で役員の若返りができない。そんな中、オール日大との交流を実施している(佐賀、熊本、宮崎)と報告があり、鈴木会長からも、オール日大と交流して人間関係を広めていただくよう助言がありました。

また、鈴木会長から叙勲褒賞受章者の情報を写真付きで校友会会報に掲載するため、本人の了承を得て提供するという依頼がありました。

総会終了後、写真撮影・懇親会を行い、鹿児島県支部顧問北山正夫氏が挨拶と乾杯の発声をして親睦を深めた。懇親会の中で古市支部長から、来年度沖縄県を会場として開催できないか提案し、鈴木会長・松尾ブロック長・長浦長崎県支部会長の同意を得て、古市支部長が宮城沖縄県支部長に依頼の手紙を出すこととなった。

鹿児島県支部からは「小松帯刀」という銘柄の焼酎を県外からの参加者に贈った。

(文責 古市 重喜)

中国ブロック総会(島根県支部主催)

第38回中国ブロック総会は、平成30年8月25日15時より、松江市殿町サンプラザ・むらくもで開催。出席者は、校友会鎌子副会長、オール日大真野哲夫松江事務局長、谷川広島県支部長以下3名、佐伯山口県支部長以下2名、大黒岡山県幹事、坂本中国ブロック長兼島根県支部長以下3名、合計14名。鳥取県は残念ながら不参加で今後の課題。

河野島根県幹事の司会により開会。鎌子副会長が、埼玉県校友会の今日の活性化は情熱、地道の絆を結ぶ努力だと自らの実践を披露。審議は坂本が議長となる。年会費納入は郵便振替用紙が各県に定着している、広島、山口のオール日大との取り組み、11月に広島県と奈良県校友会の交流並びに正倉院展研修の予告、31年度総会山口県主催の決定、後継中国ブロック長選任は世代交代を考えたい、を提起して終了。

記念撮影終了後、記念講演「松江のお茶文化」中村茶舗社長中村寿男氏、そして懇親会。7月豪雨災害被災の岡山県校友安部通宏氏に個人的に募金を募った。26日は希望者だけで市内観光。

平成30年度九州ブロック総会は、鹿児島県支部が担当し、通信教育部事務局長西野光様・校友会長鈴木勝様外、九州各県から総勢19名の出席を得て、平成30年7月28日(土)鹿児島市の郷土料理さつま路で開催しました。



幹事長牧迫正晃の進行で、開催の挨拶に続いて、物故者へ黙祷、校歌斉唱九州ブロック長松尾志郎・鹿児島県支部長古市重喜が挨拶、鈴木勝会長から校友会の近況、西野光事務局長から学校の現状を含めて挨拶を頂きました。

各県支部の活動報告では、各支部とも高齢化と新入会員が皆無で役員の若返りができない。そんな中、オール日大との交流を実施している(佐賀、熊本、宮崎)と報告があり、鈴木会長からも、オール日大と交流して人間関係を広めていただくよう助言がありました。

また、鈴木会長から叙勲褒賞受章者の情報を写真付きで校友会会報に掲載するため、本人の了承を得て提供するという依頼がありました。

総会終了後、写真撮影・懇親会を行い、鹿児島県支部顧問北山正夫氏が挨拶と乾杯の発声をして親睦を深めた。懇親会の中で古市支部長から、来年度沖縄県を会場として開催できないか提案し、鈴木会長・松尾ブロック長・長浦長崎県支部会長の同意を得て、古市支部長が宮城沖縄県支部長に依頼の手紙を出すこととなった。

鹿児島県支部からは「小松帯刀」という銘柄の焼酎を県外からの参加者に贈った。

(文責 古市 重喜)

九州ブロック総会(鹿児島県支部主催)

平成30年度九州ブロック総会は、鹿児島県支部が担当し、通信教育部事務局長西野光様・校友会長鈴木勝様外、九州各県から総勢19名の出席を得て、平成30年7月28日(土)鹿児島市の郷土料理さつま路で開催しました。

幹事長牧迫正晃の進行で、開催の挨拶に続いて、物故者へ黙祷、校歌斉唱九州ブロック長松尾志郎・鹿児島県支部長古市重喜が挨拶、鈴木勝会長から校友会の近況、西野光事務局長から学校の現状を含めて挨拶を頂きました。



各県支部の活動報告では、各支部とも高齢化と新入会員が皆無で役員の若返りができない。そんな中、オール日大との交流を実施している(佐賀、熊本、宮崎)と報告があり、鈴木会長からも、オール日大と交流して人間関係を広めていただくよう助言がありました。

また、鈴木会長から叙勲褒賞受章者の情報を写真付きで校友会会報に掲載するため、本人の了承を得て提供するという依頼がありました。

総会終了後、写真撮影・懇親会を行い、鹿児島県支部顧問北山正夫氏が挨拶と乾杯の発声をして親睦を深めた。懇親会の中で古市支部長から、来年度沖縄県を会場として開催できないか提案し、鈴木会長・松尾ブロック長・長浦長崎県支部会長の同意を得て、古市支部長が宮城沖縄県支部長に依頼の手紙を出すこととなった。

鹿児島県支部からは「小松帯刀」という銘柄の焼酎を県外からの参加者に贈った。

(文責 古市 重喜)

東海ブロック総会(三重県支部主催)

平成30年度東海ブロック総会は、三重県支部が担当し、平成30年10月21日(日)に桑名市立精義公民館で開催しました。来賓として鈴木孝司副会長のご出席をいただきました。

静岡県3名、愛知県1名、岐阜県1名、三重県4名、来賓の鈴木孝司副会長の計10名が出席しました。

総会では、校歌斉唱にはじまり、各県の報告、そして鈴木孝司さんより大学の現状のお話を賜りました。

総会も終わり、懇親会では桑名名物ハマグリ料理で有名な「歌行燈」へ移り、静岡県の石川貞夫さんの

副幹事長に佐藤翔太さん、新幹事に藤原光子さんが受託して下さりました。支部会則よりは少ない役員数ですが、今後より一層支部の活性化をはかる事を決議致しました。

秋のレクリエーションは、会員からの希望があり、小樽芸術村と水族館に決定致しました。JRでのちよつとした旅気分を味わい、秋の紅葉と芸術を堪能したいと思います。日程は9月22日(土)を予定しております。

又、新年会は平成31年2月2日(土)に決定。多くの会員が参加できる様、会員相互が声をかけ合う

北海道石狩支部総会

平成30年7月7日(土)正午より、札幌グランドホテルに於いて、13名の出席を頂き、石狩支部総会を開催致しました。

総会は支部長の挨拶後、議長には川田順一氏を選出され、29年度事業報告、決算報告、会計監査報告を終え、30年度事業計画、予算案、役員改選について協議がなされました。議案は全て承認決議されました。

しかし役員改選は難を呈し、役員補充には数名が必要ですが、総会出席者から選出するのは極めて難しく、定員を満たす事はできませんでした。しかしその中でも今回、

副幹事長に佐藤翔太さん、新幹事に藤原光子さんが受託して下さりました。支部会則よりは少ない役員数ですが、今後より一層支部の活性化をはかる事を決議致しました。

秋のレクリエーションは、会員からの希望があり、小樽芸術村と水族館に決定致しました。JRでのちよつとした旅気分を味わい、秋の紅葉と芸術を堪能したいと思います。日程は9月22日(土)を予定しております。

又、新年会は平成31年2月2日(土)に決定。多くの会員が参加できる様、会員相互が声をかけ合う

支部だより

最後に来年度開催の長崎県支部長浦氏の万歳三唱で懇親会を閉じた。鹿児島県支部顧問北山正夫氏が、地元(薩摩川内市)高齢者クラブ発行「文化伝承流し雲」に投稿された、薩摩の英傑「小松帯刀」の記事を出席者に配布した。今年のNHK大河ドラマ「西郷どん」にも、小松帯刀が登場している。

鹿児島県支部からは「小松帯刀」という銘柄の焼酎を県外からの参加者に贈った。

(文責 古市 重喜)



平成30年7月7日(土)正午より、札幌グランドホテルに於いて、13名の出席を頂き、石狩支部総会を開催致しました。

総会は支部長の挨拶後、議長には川田順一氏を選出され、29年度事業報告、決算報告、会計監査報告を終え、30年度事業計画、予算案、役員改選について協議がなされました。議案は全て承認決議されました。

しかし役員改選は難を呈し、役員補充には数名が必要ですが、総会出席者から選出するのは極めて難しく、定員を満たす事はできませんでした。しかしその中でも今回、

副幹事長に佐藤翔太さん、新幹事に藤原光子さんが受託して下さりました。支部会則よりは少ない役員数ですが、今後より一層支部の活性化をはかる事を決議致しました。

秋のレクリエーションは、会員からの希望があり、小樽芸術村と水族館に決定致しました。JRでのちよつとした旅気分を味わい、秋の紅葉と芸術を堪能したいと思います。日程は9月22日(土)を予定しております。

又、新年会は平成31年2月2日(土)に決定。多くの会員が参加できる様、会員相互が声をかけ合う

(文責 作田 良子)